

温暖化・省エネ分科会／海外交流分科会共催セミナー  
\*\*気候変動枠組条約第15回締約国会議（COP15）を受けて\*\*

【講演Ⅰ】「COP15の報告－日本の国際交渉について－」

経済産業省 産業技術環境局 地球環境対策室 課長補佐 小泉 秀親 様

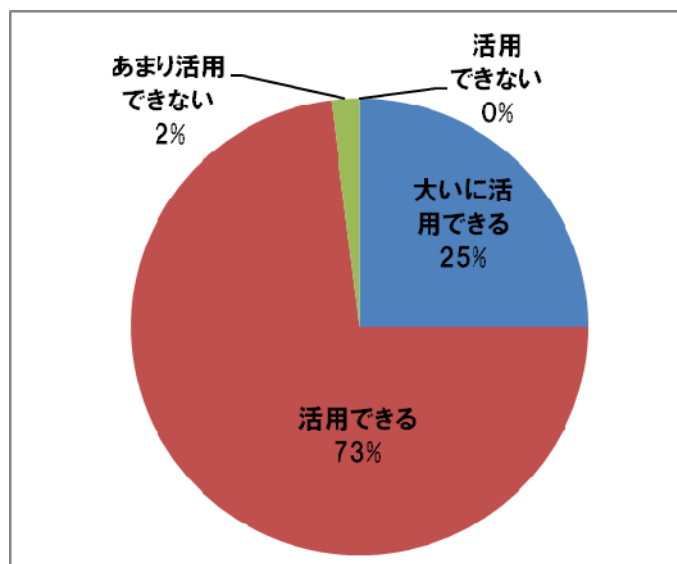
【講演Ⅱ】「日立グループの環境戦略」

日立製作所 地球環境戦略室 環境企画センター長 平野 学 様

アンケート調査結果

1. 出席者：86名
2. 回答者：48名
3. 回答率：56%

質問1.本セミナー全体を通して、今後の環境経営に活用できると思われますか。



「大いに活用できる」、「活用できる」への回答は、98%（48人中47人回答）。

【ご意見】

● 講演Ⅰ＆Ⅱ共通

|                                                        |
|--------------------------------------------------------|
| 環境経営を考える上で、非常に有意義な情報、かつ具体的な提案を聞くことができた。                |
| どちらのテーマもタイムリーな問題であり、興味が持てた。                            |
| タイムリーで、よく理解できる内容であった。                                  |
| 喫緊の課題であり、各企業がまじめに早急に取り組むべきだと強く感じた。                     |
| 国と会社の両面から見て、とても興味のある講演内容であった。                          |
| 短期的、直接的に業務に反映できるというよりは、長期的、戦略的な方針、考え方の整理・立案に役立つ内容であった。 |

● 講演Ⅰ「COP15の報告－日本の国際交渉について－」

|                       |
|-----------------------|
| COP15以降の各国の動向が良く分かった。 |
|-----------------------|

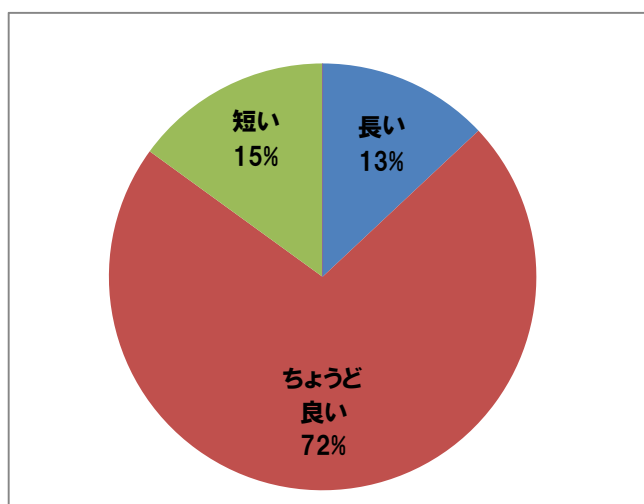
|                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------|
| COP15 の状況と世界各国の状況が分かり大変参考になった。                                               |
| 各国の状況が把握でき、企業のグローバルな CO <sub>2</sub> 戦略の参考となった。                              |
| 本音が聞けて興味深い発表だった。                                                             |
| COP15 の内容を再確認できてよかった。ただし、「限界削減費用」の不公平が絶対納得できない。                              |
| 国際会議は各国の国益が絡みまとまるのは大変だと思った。世界政府的発想をしないとまとまらないし、力が分散すると思う。そういう時代は期待できるのでしょうか。 |
| 配布資料と共に迫力があり、かつ裏事情も含めてポイントが詳細にわたるので、クリアに理解できる点も有り、非常に参考になった。                 |
| 大変判り易い講演でとてもよかった。COP15 の交渉経緯など苦労されたそして大いに努力された様子を実感しました。                     |
| 世界全体の交渉状況がいかに困難なのかがよくわかった。大きな方向性が定まった段階で今後の具体化に興味がある。                        |
| 政治の裏側など、非常に興味深いお話をお伺いできました。（日本も少し、ずるさが必要だと感じた。                               |
| 新たなクレジットメカニズムなど今後の環境対応として、調査・検討していきたい。                                       |

## ● 講演Ⅱ「日立グループの環境戦略」

|                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 今後とも、より環境配慮型商品ビジネスに注力していくことが重要との認識を新たにした。                                                  |
| まだ環境経営というほどの進んだ考え方が浸透しておらず、目の前の省エネ対策を確実にこなしている。（代理出席で経営の視点で考えることが難しい。初めて耳にする制度も有り、勉強になった。） |
| 今後のビジネスの方向性が理解でき、大変参考になった。                                                                 |
| 先進的な日立殿の戦略は参考となった。                                                                         |
| 大変判り易い講演でとてもよかった。日立グループの講演も判りやすかった。ここの内容は紹介のみであったが、個々に大変興味あるものであり、別途詳しい話を聞きたいところです。        |
| 本年度中に ISO14001 の取得を目指しており、EMS 上の環境教育や省エネ推進のバックボーンとしての資料作りに本セミナーの公演内容を役立てたい。                |
| 自企業における省エネへの取り組みと、製品を含めた戦略の参考にしたい。                                                         |
| 実企業の取り組みの具体的な説明は非常に参考になる。特筆すべき実績の他に、今後特に力点を入れる開発動向についてはもう少し強調して欲しかった。                      |
| これからの削減は、民生（家庭）部門の努力が必要。                                                                   |

## 質問 2.各講演時間について如何でしたか。

### 【講演Ⅰ】「COP15 の報告－日本の国際交渉について－」



「ちょうど良い」が72%、  
「長い」「短い」はともに13～15%。

● 長い

|                                     |
|-------------------------------------|
| もっとお話を聞きたかった。時間的には長いと思うが、内容からすると短い。 |
| 質疑応答の時間が足りなかった。                     |

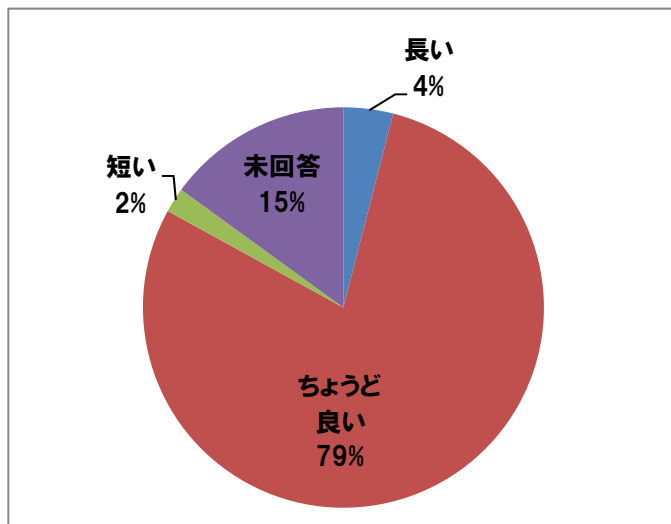
● ちょうど良い

|                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国際交渉の生々しい舞台裏を聞くことができ興味深かった。地球規模の環境保全と産業界を含む日本の国益の拡大に、引き続き尽力いただきたい。今日の話は、全国民に認識してもらいたい。                                                                                                                                                                 |
| COP15 の報告では、ニュースや記事では、あまり知りえない情報まで展開され、勉強になった。                                                                                                                                                                                                         |
| COP15 の実情を分かり易く説明いただいた。                                                                                                                                                                                                                                |
| COP15 当日のスリリングな半紙は大変面白い。背景が良く分かる。                                                                                                                                                                                                                      |
| 後半の新たなクレジットメカニズムについて、もう少し詳しく聞きたかった。COP15 の裏側を知ることができ、有意義だった。                                                                                                                                                                                           |
| 現在の動きが良く分かったが、さらにじっくり聴きたかった。                                                                                                                                                                                                                           |
| 分かりやすいお話でよかったと思う。中国はいつになったら、先進国の仲間入りをするのでしょうか。時期とそのための条件は何でしょうか。                                                                                                                                                                                       |
| 25%削減について、真水（日本国内での削減は難しい。やはりグローバルな展開の新しいクレジット制度の創設が必要。日本の高い技術を他国（米、中国他も含む）や開発途上国への適用貢献を組み入れることで25%を達成する。結果的には、世界全体のCO <sub>2</sub> 削減に大いに貢献できる。日本はもっとこの点を強調すべきと思う。マスコミを含め、25%削減に対し、被害者的後ろ向きの意見が多い。もっと前向きに、日本が世界に大いに貢献できることをアピールする Good Chance と考えるべき。 |
| 両講演共に、もう少し時間を取り、その分ゆとりをとってスピーチされるほうは良いと考える。                                                                                                                                                                                                            |

● 短い

|                                   |
|-----------------------------------|
| 今後の対策（資料後半部分）についてご講演いただきたかった。     |
| 日本としての対応案をもう少し詳細に論じてほしかった。        |
| 具体的な内容の話もあり、面白かった。もっと時間をかけて欲しかった。 |
| 講演Ⅰは、テーマが大きく+20分位あっても良かったのではないかな。 |
| 1990年基準のからくりが良くわかった。              |

【講演Ⅱ】「日立グループの環境戦略」



「ちょうど良い」が79%、  
「長い」「短い」がともに2～4%程度。

|                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講演Ⅰの繰り返しとなるので、一般論を割愛し、日立殿の取り組みの項のみで十分であると感じた。                                                |
| 日立グループ様の環境戦略を学ぶことは、日本の産業界の今後の方向を学ぶことに等しく、動向を概観するために、非常に役立つ。                                  |
| 自社に置き換えると、計画的に温暖化対策を進めていくとしかいえない。                                                            |
| 日立グループの講演は参考となる内容が数多く見られた。                                                                   |
| 長期的に 2025 年、1 億トン CO <sub>2</sub> 減のシナリオは参考になる。                                              |
| Top Policy の検討経緯・考え方をじっくり聴きたかった。                                                             |
| より具体的な活動について話があると良かった。（「世界および日本の動向」が長かった。）                                                   |
| 講演Ⅱは、内容的に講演Ⅰとダブっている（1/3 程度）。自社活動発表に絞ったほうが良い。                                                 |
| ご講演は良くまとめられていて、理解しやすかった。また、省エネ法の改正内容や温暖化・CO <sub>2</sub> 削減対策への融資制度のご紹介など、実務に役立つ情報も知ることができた。 |
| 分かりやすいお話でよかった。                                                                               |
| 両講演共に、もう少し時間を取り、その分ゆとりをとってスピーチされるほうは良い。                                                      |
| 質疑応答の時間が足りなかった。                                                                              |
| 講演Ⅱは、講演時間はちょうど良い。                                                                            |
| 全体的な話より、日立グループの環境戦略を重点的に話していただきたかった。                                                         |

以上